

Q6.満足の理由

(町内)

- ・子どもが復習や予習で活用できている
- ・使いやすいそう
- ・"町内や学校の授業で、どのように活用されているかがわかりません。

CSの会議に出席していても年配の方からもわからないとの声が聞かれます。

私自身、参観日で見たくらいでICTの良さがわかりません。

発信の仕方の問題か、町政について興味を持っていかないと難しいと思いました。

勉強不足ですいません。"

- ・子供が端末を使って当然のように授業でプレゼンをしたり、配布のプリントが減ってデータ化されるのはいいと思う
- ・グーグル keep や Canva を利用してスライド発表を組み立てたり、資料作りを授業で行う事は将来仕事をする上でとても役に立つ授業かと思えます
- ・全て当別町ではやってない??知っていませんでした
- ・授業が円滑に進むため

(町外)

- ・スクリーンは見やすいと思う。

Q8.課題や懸念点

(町内)

・デバイスや通信トラブルは常にあるので、便利だけではない。紙と電子化はバランスかと思う。

- ・低学年ほど破損の危険があり、保護者負担が大きくなります。
- ・修学旅行や校外学習で端末を持って行く為、破損や紛失が起こりやすい。
- ・低学年で感じる事として、デジタル端末が原因かわかりませんが、紙に字を書く事が苦手?下手?筆圧も気になります。書き順が酷いなど。

・じっくり座って、鉛筆を持って書く事が苦手な子が多くいるように思います。

鉛筆の持ち方も気になります。"

・懸念点は特になし。先生のITも格差はあるだろうと思うが、得意な先生がやるでいいと思う。生徒自らの工夫や発見も大切と思う。

・もっと、時代にあった授業があると良いのかな?とは思いますが、小学、中学でやるのは早い??知識不足で解答あまりできずすみません m(_ _)m 世の中には小学生でも企業して社会貢献してる人をテレビでみたような気がしていて、視野を広げるのにICTは有効かと思えます

- ・人間の脳みそは見てるだけでなく書くと記憶するから
- ・学校以外での破損の場合自己負担になるので、長期休みなどでの持ち帰りや、学童に持

って行くことなどが少し怖く感じる。

(町外)

・紙に書くことにより、思考がまとまることもあったり、AIに考えをまとめさせると自発的ではなくなるから。使いこなせる前に、吸い取られてしまう感じがしてる。

・"【デバイスの破損～】

タブレットが配布されると、子どもたちは「無料でもらった」と思いがちです。大切に扱えず、壊してしまい、弁償の対象になる家庭もあります。学びのために配布されており、とても高価なものである、と理解できる学齢までは、学校で預かり、持ち帰らせない方が良いと感じることもあります。

【授業中ながら使用】

教員の目が届かないところで、授業に関係のないタブレット使用があり、防ぐことが、現状は難しいです。

・メリハリをつけられない子どもが増えていると感じています。"

・家で勉強させる時も端末使わないとできないが気づくと YouTube 見てたりと、勉強してるのか遊んでいるのかこちらからはわかりにくい！

・端末操作に詳しい児童が指南役になって、やってはいけないソフトのダウンロードなどをした事象があった。低学年の頃端末の管理に不安があった。

・漢字の書き取り能力や語彙力が減っている。

・余市町の小学校では SNS でのイジメが発生しているようです。タブレットを使用した授業はコロナ禍以前より導入していて、個別最適な授業が受けられる、不登校児童も勉強が出来るなど、良い部分もあるようですが、手書きも大切だと感じます。

・インターネット等はわからない事をすぐに教えてくれたり、なかなか見ることができない事を見せてくれたりとても便利で良いところはあるが、子どもの成長にとって本当に大事な事は実物を見て触れて感じる事だと思う。子どもたちのためには、インターネット等に頼り過ぎないように気をつけるべきと思う。

Q10.端末の導入時期

【適切】

(町内)

・低学年には楽しいようです。キーボードの練習も早い段階でやっていただき感謝しています。

・家庭でも何かしらのデバイスを使っているから

・1年生から持っていてなれるべき。文字を書くように慣れておけばいい。

・モラルなどの育成にも役立つと思うから

【早いと感じる】

(町内)

- ・そういう時代かなとは思いつつ、でももう少し遅くてもいいかなと。
- ・自分で管理できる学年になってからでいいと思う。
- ・Q8 で答えた内容もありますが、低学年は基礎学習をしっかり身につけないと字が書けない、読めない、文章の理解が苦手な子供達が多いように感じます。

(町外・道外)

- ・電子機器の活用の意味がわかって使えるようになるのは中学生頃からだと思う。
- ・少しずつ利用して行けたら良いかと思う
- ・インターネットリテラシーを丁寧に、回を重ねて学んでから、ひとり一台のタブレットを渡していても、遅くないと思います。今の時代は、小学校入学前から、ほとんどの家庭でスマートフォンやタブレット等に触れており、操作ができない子どもは、あまりいません。しかし、各家庭でルールが違っていたり、そもそもルールが無い家庭もあります。その姿勢のまま、学校の授業でタブレットを生かした学習を行うのは困難だと考えます。ICT を通した素晴らしい学びを得るためには、そのメリットだけでなく、危険性や皆で守るべきルールをしっかり理解する必要があります。小学一年生からである必要は無いと感じています。
- ・視力低下が早いと感じる
- ・端末の管理が不安。学校でのみ使用などにしてほしい。
- ・まだリテラシーを理解していないから
- ・今は1年生からタブレットを使用しているが、1年生～2年生くらいまではできるだけ本を読むことや字を書く事をしっかり充実させるべきかと思う。
- ・「書く力」への懸念

Q14.自由回答

(町内)

- ・GIGA スクールは今の小中学が大人なった時の事を思うと必須と感じます。リテラシーのことも授業と家庭で連携を取ってしっかりと。どの科目でもリスクはあると思いますが（スキー授業の際スタック振り回して遊ぶなど低学年はあります）、SNS からイジメ・犯罪に繋がったケースなど恐ろしさが簡単に起こる事に特に留意して進めていきたいです。
- ・"Q13 に関しては子供だけでなく、親も一緒に学んでほしいと感じます。子育ては親育てだと思うので、親子で学ぶ事や親子の共有する時間が大切だと思います。子供を預ける時間長く、親と子が別々の時間を過ごす事が多い中で、少しでも一緒の時間が作れる方法がないものか思います。どうしても家庭環境によって格差がうまれますが、たくさんの地域の大人が関わる事で様々な経験をし、子供達の心を成長させてあげたいし、町としても支援してほしいと思います。"

(町外)

・"岩見沢市議会では全市の中学3年生に主権者教育を行っています。

今年度は栗沢学舎からの希望で6年生も主権者教育をしました。6年生に関しては市議会を身近に感じてもらえるように○×クイズ等も取り入れたりしながら行いました。

"